

YOKOHAMA SINFONIETTA FESTIVAL #02



第2回 横浜シンフォニエッタ祭、開幕。

KAZUKI YAMADA, conductor
LUNA OKUBO, violin
YO KITAMURA, cello



ごあいさつ

本日は第2回横浜シンフォニエッタ祭に
御来場ありがとうございます。
昨年に続き、世界中で新型コロナウイルスが蔓延する中で
第16回演奏会は再延期とし
第2回横浜シンフォニエッタ祭として開催する運びとなりました。

多くの感染症対策や演奏会形式がある中で
昨年同様、横浜シンフォニエッタは感染対策を厳格化した
独自のルールを設定し開催します。
皆様には快適に音楽を楽しんで頂けるよう
ご協力をお願いできれば幸いです。

第2回横浜シンフォニエッタ祭では、
次世代を担う新進気鋭のヴァイオリニスト、チェリストの
2名の若きソリストが、横浜シンフォニエッタと初共演をします。
今後の世界の音楽界を担う若い才能が、
横浜シンフォニエッタの本拠地であるフィリアホールにて
共に音楽を作り上げることに大きな喜びを隠せません。

再延期となってしまいました
第16回演奏会も楽しみにお待ち頂ければ幸いです。

一般社団法人横浜シンフォニエッタ
ゼネラルマネージャー 碓井俊樹

第2回 横浜シンフォニエッタ祭

横浜シンフォニエッタ 若き才能とともに Vol. 2



ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 KV219

第1楽章 Allegro aperto

第2楽章 Adagio

第3楽章 Tempo di Menuetto

ヴァイオリン：大久保瑠名

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキイ Peter Ilyich Tchaikovsky (1840-1893)

ロココの主題による変奏曲

第1楽章 Allegro aperto

第2楽章 Andante ma non troppo

第3楽章 Allegro

チェロ：北村陽



ヴォルフガング・アマデウス・モーツアルト Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

交響曲第40番 ト短調 KV550 後期稿

第1楽章 Molto allegro

第2楽章 Andante

第3楽章 Menuetto: Allegretto

第4楽章 Finale: Allegro assai

18時40分よりプレコンサート開催！

山田和樹×古海行子

ラヴェル：ラ・ヴァルス（ピアノデュオ版）

2021年12月10日(金) 19:00開演 青葉区民文化センター フィリアホール

おしゃべり室内楽コンサート

楽器のヒミツや作品について奏者がおしゃべります



フランツ・ヨーゼフ・ハイドン Franz Joseph Haydn (1732-1809)

ロンドン・トリオ 第1番 ハ長調 Hob.IV:1

第1楽章 Allegro moderato

第2楽章 Andante

第3楽章 Finale. Vivace

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン Ludwig van Beethoven (1770-1827)

ピアノ、フルート、ファゴットのための三重奏曲

ト長調 WoO 37

第1楽章 Allegro

第2楽章 Adagio

第3楽章 Thema andante con variazioni

フランシス・プーランク Francis Jean Marcel Poulenc (1899-1963)

オーボエ、ファゴットとピアノのための三重奏曲 FP. 43

第1楽章 Presto: Lent - presto

第2楽章 Andante: Andante con moto

第3楽章 Rondo: Tres vif

フルート：北川森央

オーボエ：志村樺奈

ファゴット：依田晃宣

ピアノ：碓井俊樹

2021年12月11日(土) 11:00開演 青葉区民文化センター フィリアホール



山田 和樹

Conductor, Kazuki YAMADA

第51回(2009年)ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・プラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮。以降、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団(シュターツカペレ・ドレスデン)、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、エーテボリ交響楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団など世界の主要オーケストラに客演を重ねている。

2017年にはベルリン・コーミッシャ・オーパーで《魔笛》、モンテカルロ歌劇場で《サムソンとデリラ》を指揮して高い評価を得るなど、オペラの分野でも活躍。

2014/2015年にアメリカ・デビュー、2015/2016年にはオセアニア・デビュー。

2021年にはサンタ・チチーリア国立アカデミー管弦楽団デビューを成功させ、再客演が予定されている。

2012年から2018年までスイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者を務めた他、2016/17シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。2018/2019シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団では、2023年4月から首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任することが発表された。

日本では、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動している。

小澤征爾氏の信頼厚く、2010年に指名代役としてスイス国際音楽アカデミーを指揮。以降参加を重ねる他、2012年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本でオネゲル作曲《火刑台上のジャンヌ・ダルク》を指揮、同時期にサントリー芸術財団サマーフェスティバルでクセナキス作曲《オレスティア三部作》を指揮し、獅子奮迅の活躍が注目された。2014年7月にはスイス・ロマンド管弦楽団15年ぶりとなる日本公演を、2016年にはバーミンガム市交響楽団日本公演を成功に導いた。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、実行委員会代表を務めた『柴田南雄生誕100年・没後20年記念演奏会』が平成28年(2016年)度文化庁芸術大賞、日本フィルハーモニー交響楽団と3年に亘り行った『山田和樹マーラー・ツイクリス』が第67回(2017年)芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。2019年には世界各国206の国歌を現地語でレコーディングするという“アンセム・プロジェクト”を東京混声合唱団と完結しキングレコードからリリースした他、オクタヴィア・レコード、PENTATONE、EXTON、日本コロムビア(DENON)などから多くのCDを発表。

著述に『「超」音楽対談 オーケストラに未来はあるか』(対談・アルテスパブリッシング刊)、『「自由」の危機－息苦しさの正体』(論考集・集英社新書)などがある。

本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髓を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表する人気マエストロである。

ベルリン在住。

公式twitter @yamakazu_takt

© Marco Borggreve



©井村重人

大久保 瑠名

violin, Luna OKUBO

2006年生まれ。3歳よりヴァイオリンを益田みどり氏に師事。第1回桐朋学園ジュニア音楽コンクール第1位、第69回及び73回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位・全国大会第3位、第3回日本奏楽コンクールグランプリ受賞及び弦楽器部門第1位・ロシア音楽賞。第75回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位・全国大会第2位。「題名のない音楽会~神童たちの音楽会2017」に出演、田中祐子指揮東京交響楽団と共に演奏。ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018にて「題名のない音楽会」特別コンサートに出演。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース1年及び慶應義塾女子高等学校1年在学中。現在、ヴァイオリンを寺沢希美、辰巳明子、ピアノを内藤由衣、作曲を三瀬和朗の各氏に師事。趣味は乗馬、バレエ鑑賞。

2004年生まれ。2017年、第10回若い音楽家のためのチャイコフスキーオンラインコンクール優勝。9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを行う。これまでに、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団に招かれ、小林研一郎、井上道義、大友直人、藤岡幸夫、阪哲朗、小林資典ら各氏と共に演奏。テレビ朝日「題名のない音楽会~神童たちの音楽会2017」、BSテレ東「エンターナメント・ザ・ミュージック」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、「ラボー! オーケストラ」などに出演。W・ベッチャー、P・ミュレール、M・マイスキー、M・ブルネロ、J=P・マイヤーら各氏のマスタークラスを受講。堤剛、山崎伸子、太田真実、故ギア・ケオシヴィリ各氏に師事。2021年霧島国際音楽祭賞受賞。現在、特待生として桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)2年に在籍。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与されている1668年製「カッシーニ」。

北村 陽

cello, Yo KITAMURA



プロフィール - 北村陽 08



横浜シンフォニエッタ *Yokohama Sinfonietta*

1998年TOMATOフィルハーモニー管弦楽団として東京藝術大学学内にて創立。後に横浜シンフォニエッタへと改称、音楽監督に山田和樹を擁し、横浜に活動拠点を置くオーケストラとして国内外で演奏活動を展開している。

2013年フランス・ナントのラ・フォル・ジュルネ音楽祭へ日本の楽団として初めて招聘され、2015年韓国（統営・国際音楽祭）、2017年および2019年ロシア（モスクワ・ロストロボーヴィチ国際音楽祭）と海外の著名な音楽祭にて公演を重ねる。CDリリースも多数、題名のない音楽会等に出演し、世界の最先端を行くイノベーション・オーケストラとして注目を集め。その功績を高く評価され横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。

オフィシャルサイト www.yokohama-sinfonietta.com

コンサートミストレス：会田莉凡

第1ヴァイオリン

荒巻美沙子・澤亜樹・柘植彩音・正岡愛理・湯原佑衣

第2ヴァイオリン

遠藤香奈子・大澤愛衣子・坂田佳奈子・東山加奈子・本郷幸子

ヴィオラ

阿部哲・河村泉・中村翔太郎・橋本恵美

チェロ

長谷川彰子・宮尾悠・山田慧

コントラバス

倉持敦・地代所悠

フルート

北川森央・羽鳥美紗紀

オーボエ

大森悠・志村樺奈

クラリネット

下路詞子・田村知子

ファゴット

依田晃宣・岩佐雅美

ホルン

友田雅美・嵯峨郁恵

古海行子（ピアノ）

2021年10月、第18回ショパン国際ピアノ・コンクール セミファイナリスト。2019年第11回パデレスキ国際ピアノコンクール第3位。2018年第4回高松国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝。併せて委嘱作品演奏者賞、香川県知事賞、高松市長賞、公益財団法人松平公益会賞、公益財団法人高松市文化芸術財団理事長賞を受賞。2019年第20回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会プロフェッショナル部門金賞、及びショパン協会賞受賞。日本はもとより、イタリア、ポーランド、アメリカなど数多くのコンサートに出演。また日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団をはじめ、オーケストラとも数多く共演。日本コロムビアのOpus Oneレーベルより「シューマン：ピアノ・ソナタ第3番」でCDデビュー。現在、昭和音楽大学大学院2年。江口文子氏に師事。

プレコンサート出演者

北川森央（フルート）

玉川学園小学部にて豊かな音楽教育を受け、11歳よりフルートを始める。東京藝術大学附属高校、東京藝術大学卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程修了。博士（音楽）を取得。東京藝術大学教育研究助手、新日本フィルハーモニー交響楽団契約団員等を経て、現在、聖徳大学音楽学部准教授、東京藝術大学及び上野学園大学講師。横浜シンフォニエッタフルート奏者。

室内楽公演出演者

志村樺奈（オーボエ）

12歳よりオーボエを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科を経て、同大学大学院修士課程を管打楽器科首席で修了。修了時に大学院アカンサス賞を受賞。現在はフリーランスで活動している。これまでに、オーボエを小山祐生、青山聖樹、小畠善昭、吉井瑞穂の各氏に、バロックオーボエを三宮正満氏に、室内楽を須川展也、河村幹子の各氏に師事。東京藝術大学奏楽堂モーニングコンサートにおいて山下一史指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共に演じ、A.ルブツォフの《オーボエ協奏曲》を日本初演。第89回読売新人演奏会に出演。

依田晃宣（ファゴット）

東京藝術大学音楽学部卒業。藝大フィルハーモニア管弦楽団ファゴット奏者。横浜シンフォニエッタ、アンサンブル東風、ファゴットアンサンブル『メイプルズ』各メンバー。東京藝術大学演奏講師、桐朋学園大学非常勤講師。サイトウキネンや宮崎国際音楽祭等の国内音楽祭や、『台湾コネクション』へのゲスト演奏家としての招聘等、国内外で多くの公演に出演を重ね、オーケストラ、室内楽奏者として幅広く活動している。

碓井俊樹（ピアノ）

東京藝術大学附属音楽高等学校および同大学を経て、ザルツブルク・モーツアルテウム芸術大学で研鑽を積む。ヴィオッティ国際音楽コンクール入賞、オランダミュージックセッションにてドネムス演奏賞、ウィーン現代前衛芸術団体'TAMAMU'より現代芸術特別賞、カントゥ国際音楽コンクール優勝など数多くの受賞歴を誇る。国内外のオーケストラのソリスト、多くの国際音楽コンクールの審査も務め、ウィーンを拠点に40カ国以上にて演奏活動を行う。平成29年度外務大臣表彰を受賞、ジョージア共和国シグナギ市より名誉市民称号を授与される。2020年第3回種田山頭火賞を受賞。（一社）横浜シンフォニエッタ 代表理事、日本香港音楽協会理事長（香港）、上野学園大学客員教授。